

【資料5】 団体アンケート結果からみたアクションプラン

【全般】 「現在の古賀市の文化活動の環境について」 はリーパスプラザこがの完成による活動のしやすさが挙げられる反面、その使用料やコロナ禍の影響、そして市民の文化活動への認識からやや活動しにくいという回答もあった。団体が抱える課題も、人材不足と資金不足という計画策定時と同じ課題をなお抱えている現状があり、重ねて新型コロナウイルスへの対応への苦慮が見られる。計画策定時より調査に協力いただいている団体に当時との環境を比較してもらう項目においては、リーパスプラザこが完成の成果により「やや良くなった」の回答が多いという結果となった。

【各項目】

○環境づくり：アクションプラン中、団体同士のつながりが挙げられる項目。アンケートでは「他の団体との交流・連携が83.3%実施されている」という結果となった。

○古賀市の個性をおこす：アクションプラン中、活動にあたり古賀市にある資源の活用や新たな取り組み、そして次世代への引継ぎが挙げられる項目。「宝を見つける」では新たな文化芸術活動の取り組みが挙げられているが、近年の新型コロナウイルス感染症対策で現状難しかったのではないかと考える。「宝をいかす」「宝を伝える」の古賀市にある資源の活用については回数の差はあるが、8割程度の団体が実施している結果となった。「宝を守る」での次世代引継ぎについては、多くの団体が人材不足（高齢化、若者の担い手不足、文化への関心の低下）に陥っている現状にあるといえる。

○古賀市の新しい魅力を興す：アクションプラン中、文化団体以外の団体との交流による文化活動のひろがり挙げられる項目。

「人にやさしいまちづくり」については自治会・育成会・老人会との交流連携は約半数が実施しているが、障がい者・障がい者団体との交流連携は27.8%、外国人との交流連携は0%の実施という結果となった。

「ざわめきづくり」では他の団体との交流・連携が83.3%実施されている旨を参考としている。

➔リーパスプラザこがという活動場所の完成は文化環境の向上に資するものであり、現在リーパスプラザこがを活用して、団体個々、また文化団体同士の交流連携が行われている。しかし文化団体以外の交流連携は数がまだ少なく、また人材や資金等の問題は計画策定時よりそのまま残されており、新たな取り組みや次世代への引継ぎは困難な現状にある。

【参考】アクションプラン「団体がおこす」とアンケート結果の参考箇所

環境づくり	アクションプラン項目	参考	
	団体の交流を行い、互いに認め合い、高め合おう。	問4 貴団体が活動を行うにあたり、平成25年度から現在までの10年間、交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるもの全てに○を付けてください。	他の団体との交流・連携 83.3%実施
	文化芸術に関するイベント、団体の活動などの情報を収集し、提供しよう。	—	—
	文化芸術活動同士の意見交流の場を設け、団体間のネットワークをつくろう。	問4 貴団体が活動を行うにあたり、平成25年度から現在までの10年間、交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるもの全てに○を付けてください。	他の団体との交流・連携 83.3%実施

宝みをつける	アクションプラン項目	参考	
	新たな文化芸術活動の取組に挑戦しよう。	—	—

宝を い か す	アクションプラン項目	参考	
	文化、歴史、風景など古賀市の環境をいかした文化芸術活動を行おう。	問5-1 貴団体が活動を行うにあたり、この10年間、古賀市の文化・歴史・風景など、古賀市の環境を生かした活動をしたことがありますか。	ない：22.2% 年1回：44.4% 年2～5回：22.2% 年6回以上：22.2%
	地域の公民館や身近な施設を活用するとともに、古民家等の利用可能な場所を開拓し、文化芸術活動の場として活用しよう。	問6-1 活動や文化体験などを行うにあたり、この10年間、公民館や古民家など地域の利用可能な場所を活用したことはありましたか。	ない：11.1% 年1回：5.6% 年2～5回：38.9% 年6回以上：33.3% 回答なし：11.1%

宝を 伝 え る	アクションプラン項目	参考	
	文化芸術を身近に感じられる体験講座など、地域に出向いた活動を提供しよう。	問7-1 活動発表や文化体験など、この10年間、地域に出向いた活動を行ったことはありますか。	ない：11.1% 年1回：11.1% 年2～5回：44.4% 年6回以上：22.2% 回答なし：11.1%
	屋外での活動や広報の方法など、「見える」文化芸術活動を取り入れよう。	問8-1 屋外における広報活動や発表など、普段の活動をご存じない方々が観ることができるような活動を、この10年間、行ったことはありますか。	ない：5.6% 年1回：16.7% 年2～5回：38.9% 年6回以上：22.2% 回答なし：16.7%

宝 守 を る	アクションプラン項目	参考	
	活動を次世代に引き継ごう。	問1 2 団体の活動にあたって、現在感じている課題があれば、記入ください。	人材不足（高齢化、若者の担い手不足、文化への関心の低下）

人 ま ち や さ し り	アクションプラン項目	参考	
	自治会での文化芸術事業の取組などの情報を共有し、地域での文化芸術の活性化を図ろう。	問4 貴団体が活動を行うにあたり、平成25年度から現在までの10年間、交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるもの全てに○を付けてください。	自治会・育成会・老人会との交流・連携 55.6%実施
団体が行う活動に、障がい者との交流や世代間交流や国際交流などを取り入れよう。	問4 貴団体が活動を行うにあたり、平成25年度から現在までの10年間、交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるもの全てに○を付けてください。	障がい者・障がい者団体との交流・連携 27.8%実施 外国人との交流・連携 0%実施	

ざ わ め き	アクションプラン項目	参考	
	異なるジャンルの団体との交流を深め、活動内容やエリアを広げ、新たな団体の魅力をつくりだそう。	問4 貴団体が活動を行うにあたり、平成25年度から現在までの10年間、交流や連携を行ったことがある対象について、あてはまるもの全てに○を付けてください。	他の団体との交流・連携 83.3%実施 企業との交流・連携 22.2%実施